

| 分類 H | 題名 | 種類 | 時間 (分) | 内容 |
|--------------|--|-----|-----------|---|
| 歴史・文化 (9) | 人権ってなあに4 (部落篇) 沖浦和光が語る 被差別民が担った文化 と芸能 ―日本文化の地価伏流― | VHS | 43 | <p>全国各地の数百にのぼる被差別部落を訪れ、伝承されてきた芸能と産業技術を研究してきた沖浦和光さん。この作品では、沖浦さんの研究成果をもとに、大阪、奈良、浅草に、被差別民衆が担ってきた芸能の歴史をたどる。</p> <p>能の最古の形態を今に伝える、奈良坂の奈良豆比古神社の翁舞。観阿弥、世阿弥の親子によって、能は日本を代表する舞台芸能へと発展した。また、中世以来、口伝で語り伝えられてきた説経節は、江戸時代に歌舞伎や浄瑠璃の題材となり、民衆の生き様を現在に伝える。人間の生を底辺から深く鋭く見つめてきた彼ら芸農民の視線は、とだえることなく時代を超えて現在に引き継がれている。</p> <p>教科書からは知ることのできない、日本の文化と芸能を通底する大きな流れを、沖浦さんのフィールドワークから掘り起こす。</p> |